

Aidekan

キアタの森の おくふかく

森のかみさまと よばれる おおきな木が ありました。



# チマのはじめてのぼうけん

ふじしま  
藤嶋えみこ

チマイちぞくは だいだい、  
この木に すんでいました。  
まいあさ ねもとのほこらに 水を ささげ、  
木を きよめ、まもってきたのです。

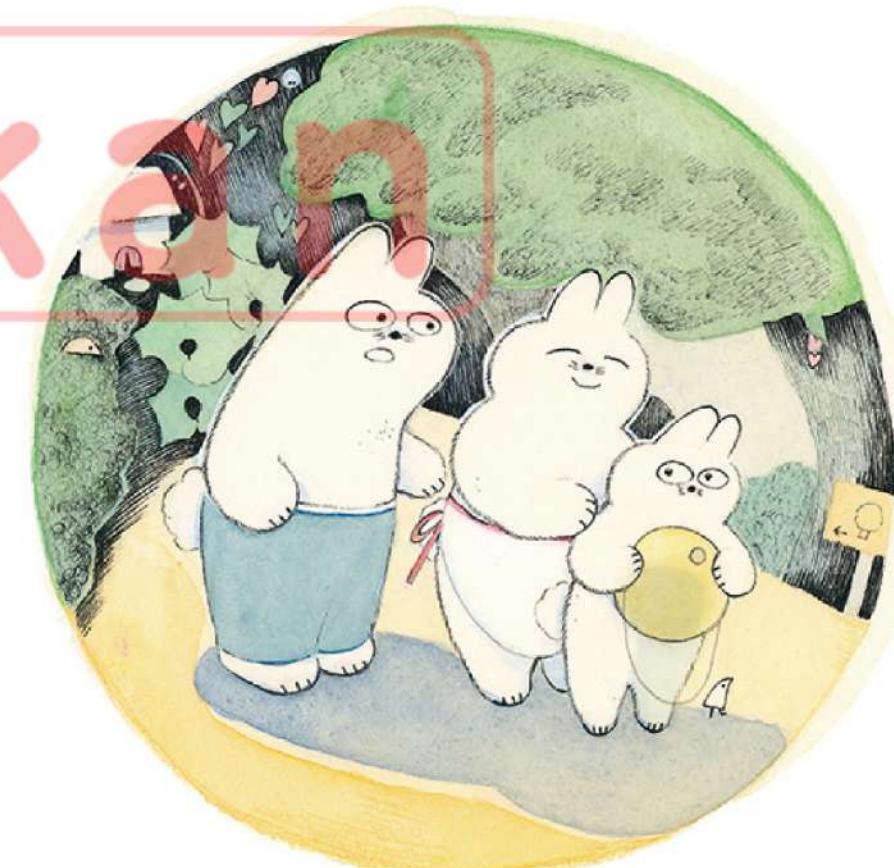


きょう、チマは 5さいに なりました。  
むかしからの ならわしで、5さいを むかえたら  
きよめの水を くみに いかなくてはなりません。  
こわがりな チマは、ふあんな きもちで いっぱいです。

「みちしるべどおりに すすめば、いざみに つくから  
だいじょうぶよ。いってらっしゃい」

「カゲネコの いたずらには きをつけるんだよ。  
イワネコのところへ つれていかれないようにね」

チマは、木のそばを ひとりで はなれたことがなく、  
まだ おともだちも いません。  
おかあさんと おとうさんは、そんな チマのことが  
しんぱいでしたが、あかるいこえで おくりだしました。





Alicekan

もり  
森のなかは まだ うすぐらく、くらやみから  
いまにも なにか とびだしてきそう。  
そのとき。

ガサガサッと 音がして、

「ひゃあ！ こ、こわいよう……」

チマは しゃがみこんでしまいました。  
音をたてたのは、おとうさんが  
きをつけるよう いっていた カゲネコでした。  
いたずらする えものを さがして あるいていたようです。

こわくて うごけないまま  
じーっとしていると、  
あちら こちらから  
おんがくが きこえてきました。  
くさきが ゆれて  
シャン シャラ シャララン

Ai look am

ひとりの うたごえ  
ピーチチ ピーチチ

むしが リズムを きざみ  
シーツク シーツク

木のみが ころがり  
コンコロ コロリン